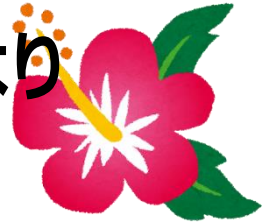




琴丘高校 図書館だより



第4号 令和5（2023）年 7月発行

期末考査も球技大会も終わり、いよいよ夏休み！ 有意義な時間を過ごせるよう願っています。

今年もやります！図書館「伝統文化活動」がついに5回目を迎えます！

毎年大好評、琴丘高校でしか体験できない行事「琴丘高生が取り組む 世界遺産姫路城の障子紙を漉いて張る」の一連の活動が、今年度も夏休みに実施されます！ 5年目を迎え認知度が上がったのか、今年度は参加希望者殺到でなんと抽選になるほどの人気でした。「やってみよう」という気持ちは、みなさんの世界をどんどん広げてくれます。ぜひ楽しんで、和紙の世界にどっぷりつかってみてください。

活動の詳細については、本校 HP にも随時アップされる予定です。お楽しみに♪

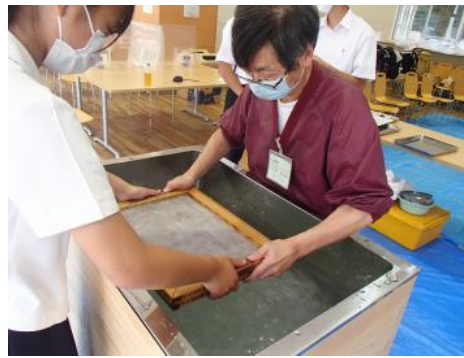
〈スケジュール〉

- ① 7月25日（火） 和紙の材料(楮)採取
・ 姫路藩御用紙漉所跡(香寺町須加院香寺いきがいセンター南方)
- ② 7月25日（火） 和紙の材料(雁皮)採取・書写山東坂登山口付近
- ③ 8月 3日（木） 和紙の学習と紙漉き・本校しらさぎ会館
- ④ 8月24日（木） 障子張り・本校しらさぎ会館

↓ 昨年度の様子から



《材料採取》楮を刈り取り皮を剥きます。この皮が和紙の原料になります。



《紙漉き》名塩紙技術保存会の八木米太郎氏のご指導を受けます。



《障子張り》現代の名工(表具師)梅岡一晴氏のご指導を受けます。



《完成》世界遺産姫路城の障子に。これは本当にすごいことなんですよ！



夏季休業中は読書感想文・感想画に取り組もう！

1・2年生は全員、3年生は希望者で、夏季休業中に本に読み、自分だけの感想を文や絵にしてください。提出日は8月21日(月)全校登校日です。

みなさんの中には、文章を書くことが苦手!という人も少なくないと思います。7月7日(金)神戸新聞に、作家の津村紀久子さんが作文について書いていたので抜粋して紹介しますね。

作文は感じたままを書いて

文章が書けると何がいいか。自分を知る手がかりになります。昨日の自分が分かり、今日の自分と比べて何を考えていたかが分かります。(略) メモでいいから、考えたことを書き残すのは大事。自分の頭で考えられるようになり、人に意見を聞いて回らなくてよくなります。SNSは偽りの自分を表現しがちだから、自分だけのメモや日記に書く方がいいです。

作文では、まず、印象に残ったことを項目ごとに簡単に書き出します。(略) 飾らなくていいから、感じたままを書くんです。自分を良く見せようと思うからしんどくなる。実感したことが重要です。書き手がうそをつかず、本当に感じたまま書くと、面白くなります。

📖 感想文の書き方についてまとめてみました。よかったら参考にしてみてください。

1 読みながら気になった箇所には、しおりを挟むか、ページや行、言葉をメモしておく

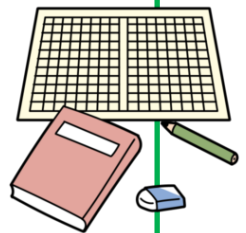
読みながら、心に残った場面、好きな登場人物の描写や発言、作者がメッセージとして伝えたいのかもしれないと捉えられる表現があれば、しおりなどの小さな紙を挟むか、メモに残しておきましょう。付箋は、糊が紙を痛めたり、印刷の字をはがしてしまったりするので、避けた方がよいそうです。

2 メモを必ず書く

どんなに文章が上手な人も、いきなり原稿用紙5枚、2000字の文章はなかなか書けません。

原稿用紙に向かう前に、裏紙などで構わないので、メモを書きます。メモには、例えば

- 簡単なあらすじ、相関図
- 最も印象に残った場面、その理由
- 登場人物で最も好意的に思った人物、あるいは嫌悪感しか抱けなかった人物
その人物と自分や周囲の人と比べて、似ているところ違うところ
- 本の世界に関連しそうな自己の体験 ➡ これを書くと内容が充実し、一気に書ける！
とにかく自分の世界に本の世界を近づけよう！これは ChatGPT にはできません！
- 構成…はじめ(400字程度)・なか(1200字程度)・おわり(400字程度)
- 感想文の題名…〈ポイント〉「～を読んで」は避けてね。



～図書館 夏季貸出について～

返却期限：9月11日(月) 貸出冊数：20冊

* 開館日時はドアや掲示板・HPに掲示しています。

* 図書館にない本は、気軽にリクエストしてください。

たくさん借りる人は
本を入れるバッグを
忘れずに!